

## 2. 新代田地区の課題と今後の取り組み

新代田地区における防災塾では、「発災後72時間は地区の力で乗り切る」のスローガンのもと、以下の議論を進めてきた。

平成26年度は、「災害時に想定される課題の発見」をテーマに、新代田地区で活躍する多くの団体の方々から、さまざまな視点で、自由な意見交換を行う中から、地区が抱える防災に関する課題の洗い出しを行った。

翌27年度は、前年度の防災塾で抽出された課題の中から、これまでの新代田地区における取り組みを確認し、さらに今後へ向けた解決策等について検討を進め、災害時に想定される課題に対する今後の方向性を明確化した。

また、新代田地区の防災力の現状を明らかにし、今後の対策検討の基礎資料とするため、災害時や防災活動の中核を担う「町会」を対象として「防災対策・備蓄状況等の調査」を実施し、各町会が所有する防災資源の把握を行った。

今年度は、これまでの議論を踏まえて、新代田地区が抱える課題をテーマごと6つの項目に分類整理した。そのうえで、各々の項目において指摘された課題、その解決に向けた現在の取り組みの状況、今後取り組むべき内容や方向性を具体的に集約した「新代田地区防災計画」を策定し、「世田谷区地域防災計画」に反映していくこととなった。

### ■1班（大原北町会、大原西町会エリア）

#### 課題1 情報収集・情報伝達

##### ①課題として指摘されている内容

- ・災害に関する情報を、どのように把握し、どこへ伝達するか、その判断が重要なポイントである。
- ・災害時には、混乱等により防災無線や行政無線は十分な機能が果たせない可能性がある。

##### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・町会役員は、日々の訓練を通して、避難者に関する情報収集や管理方法を熟知している。
- ・災害時には30分以内に災害対策本部を設置できる体制を進めている。
- ・近隣の被害状況等の確認や円滑な情報伝達ができるように、一時集合所にも町会役員を配置している。
- ・さまざまな災害状況を想定して、定期的に防災訓練を実施している。
- ・町会名簿を定期的に更新している。

##### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・町会独自で無線機を整備し、情報の収集や伝達のツールとして活用を図る。
- ・防災用の名簿の作成と整備を進めていく。
- ・町会相互の連携を図る（無線機等を活用した情報の共有化）。

## 課題2 地域・コミュニティ作り

### ①課題として指摘されている内容

- ・個人情報の収集とプライバシーの保護をどのように両立させるか。
- ・これから地域を支える新たな担い手をどのように育成していくか。
- ・地区の中学校や高校の生徒を巻き込んだ防災活動を進めることはできないか。

### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・地区の中学校や高校へ個別に要請し、防災訓練等への参加を促すチラシを配付している。

### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・共同住宅等への入居者に関する情報を把握するため、建物の管理会社等との連携、協力要請を検討する。
- ・学校との情報共有を図り、生徒との連携を深める方策を模索する。

## 課題3 安否確認・要配慮者支援

### ①課題として指摘されている内容

- ・収集した要配慮者に関する、さまざまな個人情報の保護を徹底する必要がある。
- ・個人のプライバシーを守ることによって、十分な対応が難しくなる場面も出てくる可能性がある。

### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・災害時要援護者支援協定を締結している。
- ・民生委員の把握している情報（名簿）を活用している。
- ・定期的に「要援護者名簿」に基づいて、地区の巡回を行っている。
- ・町会独自で全世帯を対象に「安否確認板」を配付し、高齢者や要配慮者宅の玄関に表示できるようにしている。

### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・災害時の安否確認が把握できるよう、集合住宅に入居している方の情報を管理会社等と共有ができないか検討する。
- ・「安否確認板」の更新を図るとともに、地区の情報を常に把握できるよう、定期的な巡回を進める。
- ・災害時要援護者支援協定の締結ができるよう、準備を進めていく。

## 課題4 初期消火活動

### ①課題として指摘されている内容

- ・町会で配備している防災用具が十分に活用できるか不安である。

### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・消火器具の使用訓練を定期的実施している。

### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・行政の助成事業等を活用し、防災用資機材の充実を図る。
- ・さまざまな機会を通じて、防災用具の使用方法や活用法に関する情報提供、訓練を継続的に実施していく。

## 課題5 避難誘導

### ①課題として指摘されている内容

- ・広域避難場所が地区から遠い場所にあるため、一時集合所の積極的な活用を図る必要がある。

### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・地区防災マップを作成、配布し、情報提供を行っている。

### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・避難所訓練を定期的、かつ継続的に実施していく。
- ・広域避難場所へのルート確認や安全に移動できる手段等を検討する。

## 課題6 その他の課題

### ①課題として指摘されている内容

- ・教育活動の一環として、防災の重要性や災害時の心掛け等、意識改革を図る必要があるのではないか。
- ・地区住民の防災意識を高めるためにも、継続的に啓発活動を進める必要がある。

### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・防災訓練等の実施に関するチラシの配付や回覧を行い、参加を促している。

### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・地区住民の防災意識を高めるため、継続的な防災活動に関する情報の周知をするとともに、新たな情報提供の手法を模索する。

## ■ 2班（代田北町会・羽根木町会（西側）エリア）

### 課題1 情報収集・情報伝達

#### ①課題として指摘されている内容

- ・防災に関する印刷物は、内容の点検や確認、更新を定期的に行う必要がある。
- ・防災情報の周知方法をどのように行うのか、整理しておく必要がある。

#### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・町会独自で防災マップを作成し配付している。
- ・緊急連絡シートを世帯ごとに配布し、家庭内で家族の安否確認ができるように活用してもらっている。

#### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・防災マップの内容について、定期的な更新作業を検討する。

### 課題2 地域・コミュニティ作り

#### ①課題として指摘されている内容

- ・集合住宅に居住する方の情報をどのように収集するのか。
- ・災害に対する危機感よりも、プライバシー保護を優先に考えている住人が多いのではないか。
- ・学校との連携を充実する必要がある。
- ・若者への働きかけを推進する。

#### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・町会掲示板を活用して、防災に関する情報提供を行っている。
- ・地区の防犯パトロールを実施し、危険箇所等の確認や把握に努めている。

#### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・集合住宅居住者に対する、防災活動の重要性を効果的に周知する方法を検討する。
- ・防災訓練等への積極的な参加を促進するための効果的な働きかけを進める。

### 課題3 安否確認・要配慮者支援

#### ①課題として指摘されている内容

- ・個人情報保護の壁をどうクリアするか、大きなテーマである。

#### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・民生委員による地区のみまもりを定期的に行っている。
- ・地区に居住する75歳以上の方の情報を把握している（自己申告制）。
- ・地域のみまもりネットワークを立ち上げている。

#### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・災害時要援護者支援協定の締結を目指す。
- ・「みまもり見回り名簿」の作成を検討する。
- ・民生委員による定期的な訪問の充実を図る。

## 課題4 初期消火活動

### ①課題として指摘されている内容

- ・防災用具（スタンドパイプ）の操作方法を熟知している住民が、どの程度いるのか不安である。
- ・定期的な訓練計画を立てることが重要である。
- ・防災倉庫やD級可搬ポンプは、地域の状況等も勘案して配備する必要がある。
- ・避難場所の周知について、住人の目に付きやすい場所に表示をすることができないか。
- ・避難訓練等への参加者の拡充を進める必要がある。
- ・訓練の回数や内容の充実を図り、住民が参加しやすい訓練を行う必要がある。

### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・定期的な避難訓練を実施し、併せて避難用具の操作説明を参加者に行っている。

### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・避難訓練の参加者を増やすための働きかけを継続的に進めていく。
- ・誰でも使用できるように、防災用具（スタンドパイプ）の操作方法の説明や用具の配置、活用方法を検討する。
- ・防災倉庫について、複数の責任者で共有・管理できるように、鍵の管理方法や鍵式以外の施錠方式（ダイヤル式等）への変更を検討する。
- ・防災用具（スタンドパイプ、発電機）の増設を検討する。
- ・町会独自の消防計画を策定し、その計画に基づいた訓練の実施を目指す。

## 課題5 避難誘導

### ①課題として指摘されている内容

- ・災害時に混乱を招かないように、避難所施設の使用方法や避難所運営の方法を明確にしておく必要がある。
- ・学校施設に子どもたちが在籍している場合等、あらゆる場面を想定して避難所運営訓練を行うべきである。

### ②現在地区で取り組んでいる内容

- ・町会役員が主体となって訓練等への参加、運営を行っている。

### ③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・避難訓練等の情報提供の方法を検証し、地区住民への周知徹底、参加者の拡大に繋がる方策を模索する。
- ・掲示板等へ避難経路の表示をすることができないか検討する。
- ・避難所施設の利用方法等について整理を進める。
- ・災害発生から「〇日後」の避難所運営訓練の実施を検討する。

## **課題6 その他の課題**

### **①課題として指摘されている内容**

- ・台風や集中豪雨等による、浸水被害への対策が必要である。

### **②現在地区で取り組んでいる内容**

- ・町会独自の防災マップを配付し、災害への注意喚起と防災への意識啓発を行っている。
- ・気象情報等を確認し、必要に応じて現地確認を行い被害状況の把握とその後の対応を行っている。

### **③今後取り組んでいく内容・方向性**

- ・浸水被害が発生しやすいエリアに対して、必要に応じパトロールを進めていく。
- ・浸水被害に関する注意喚起を進める。
- ・町会作成の「防災マップ」の見直しを検討する。